



澄み切った青空が広がり、過ごしやすい季節となりました。さわやかな青空の下、どんぐりやまつぼっくりなどこの季節ならではの秋を探して親子で楽しめると思います。

期待の心でめざめる朝、そして子どもは夕方に発達する

朝、お味噌汁やトーストのにおい、包丁でトントンと刻む音で目をさまし、「今日も〇〇ちゃんたちと、おにごっこしてあそぼう」「昨日、つくった泥だんごはどうなってるかな？」と今日の生活にワクワクと期待をよせ、1日をスタートさせる。なかなか理想通りにはいきませんが、少しでもそんな朝にできたらいいと思います。

生活リズムを大切にするとというのは、単に何時に起きて、何時に寝て…というだけではなく、こうした期待に彩られた生活の中身をつくることです。でもそのためには、年齢が幼ければ幼いほど、基本的な一日の流れが繰り返されることが必要です。毎日、何が起こるかわからない行き当たりばったりの生活では、「今日も〇〇してあそぼう」と期待することはむずかしくなります。

そして、日中、エネルギーに身体と心を動かした子どもたちは、太陽が西に傾き影法師が長くなって「今日も楽しかったね、また明日もあそぼうね」と先生や友だちと声をかけあうとき、真っ赤な夕焼けに照らされながら「今日はね、〇〇したんだよ、わたしね…」とあふれんばかりの思いをお母さんに伝えるとき、お父さんとゆったり湯舟につかりながら「お父さんも仕事がんばってきたよ。お前も友だちとがんばってきたんやな。」と声をかけてもらえるときに、日中、活動したことを内面におさめ、心を太らせていきます。それがまた、明日のエネルギーをはぐくむこととなります。子どもは夕方に発達するので。

しかし、子育て真っ最中のお母さん、お父さんにとっては、毎日しなければならないことがいっぱい。目の前の仕事を、機械のようにひたすらこなしているという感覚に陥ることもしばしばではないでしょうか。夕方、短い時間でもこどもにゆっくり向き合えることができるような生活をつくりだすために、社会がしなければならないことは何なのか、子育てで大事にしたいことは何なのかを考え合っていかなければなりません。

子どもは自然のなかで育つ

五感全体ではなく、ある個別の感覚だけを働かせてとらえた世界はきわめて不安定であり、それはときとして、子どもの心に不安感を呼び起こします。安心して新しい世界に挑戦することをむずかしくすることがあります。テレビ、ビデオ、テレビゲームなどに代表されるバーチャルな世界が子どもを取り巻くようになって、そのことのもたらす弊害がさまざまに語られていますが、こうしたバーチャルな世界は、ある特定の感覚を働かせることを余儀なくします。自然が子どもをたくましくすると言われてきたのは、狭い意味で身体を鍛えるからだけではないのでしょうか。自然は五感全体を働かせることを求めます。五感全体を働かせて、外の世界と交渉していくことによって自分の存在感を確かなものにし、安心して外の世界に立ち向かえる土台を築いていくように思います。

参考文献：『5歳児』秋葉 英則・白石 恵理子監修

【11月のさくらんぼ教室】

さくらんぼ①：11月14日（木）13：00～ くっきんぐ（うどんづくり）

〈持って来るもの〉エプロン・三角巾・マスク

保護者の方もエプロンなどがあれば持参してください

※クッキング代とおやつ代で200円準備してください

さくらんぼ②：11月28日（木）13：00～ くっきんぐ（うどんづくり）

〈持って来るもの〉エプロン・三角巾・マスク

保護者の方もエプロンなどがあれば持参してください

※クッキング代とおやつ代で200円準備してください

『参加される皆様へ』 ～ご協力をお願いします～

- お休みされる場合は、学園までご連絡下さい
- 参加費はおやつ代の100円です。製作やクッキングの活動の時には材料費として追加で100円いただきます。その都度連絡いたします
- 活動は主に、草笛学園遊戯室での活動となります
- 水分補給のため、お茶を用意して下さい（ジュース類は控えて下さい）
- きょうだい児の参加はご遠慮下さい。預け先がない場合は事前に職員までご相談下さい
- トラブルによるケガ防止のため、参加前に爪を必ず切って下さい